

放送ストリーミング情報掲載

放送ストリーミング情報【2024No.344】（HP 掲載）

分類：ネットストリーミング

局等：Digital Concert Hall

作曲家：クララ・シューマン

曲名：ピアノ協奏曲イ短調 op. 7

演奏：ベアトリーチェ・ラナ(ピアノ)/ヤニック・ネゼ＝セガン指揮ベルリンフィル

関連サイト：<https://www.digitalconcerthall.com/ja/concert/55091>

2024年5月26日ベルリンフィル大ホールでの演奏です。



ネゼ＝セガンとラナがクララ・シューマンで共演

テロ、暴力、戦争に反対する声明ーヤニック・ネゼ＝セガンが指揮するショスタコーヴィチの交響曲第7番は、ドイツ軍によるレニングラード包囲の最中に書かれ、この作曲家の世界的名声を確立しました。コンサート前半には、イタリアのピアニスト、ベアトリーチェ・ラナをソリストに迎え、若きクララ・シューマンによる豊かな旋律をもつピアノ協奏曲が演奏されます。

以上の他に下記が演奏されました。

フェリックス・メンデルスゾーン・バルトルディ

無言歌集第6巻 op. 67 より《紡ぎ歌》

ベアトリーチェ・ラナ（ピアノ）

ディミトリ・ショスタコーヴィチ 交響曲第7番ハ長調 op. 60 《レニングラード》
今回は、Brooklyn DAC+と仮想アース Crystal E との接続が、Crystal E 付属のアースケーブルからアースアキュライザーに代り、DA-3000 の RCA ポートのアースもアースアキュライザーに代り、アースアキュライザーは AV ドーナッツを通していま

す。
クララ・シューマンのピアノ協奏曲は、初めて聴くもので、ロベルト・シューマンと

同様、ロマン派の曲らしい表情を醸しています。演奏するラナも初めて聴くピアニストで、女性演奏家らしく優雅な演奏で、甘いチェロの響きとのからみも聴きどころです。無言歌集第6巻 op. 67《紡ぎ歌》はアンコール曲の小品です。

ショスタコーヴィチの交響曲第7番は、第5番ほどは機会がありませんが、第5番と並ぶ作品とされています。第二次世界大戦のナチス・ドイツ軍に包囲されたレニングラードで作曲され、戦争やファシズムをテーマとした交響曲として知られています。出だしは平和的な表現から、小太鼓がリズムを刻みながら、次第に壮大な表現が長々と続きます。さらに、ひとときの安らぎや不安感も交えながら、セガンのダイナミックな指揮の下、悲劇的で壮大な終章の盛り上がりになります。ウクライナの戦火の現在、この曲が演奏される意義を考えさせられました。

再生経路2ヶ所の仮想アースにアースアキュライザーを使用し、AVドーナッツも加わって、ロマンチックなピアノ協奏曲も交響曲7番も緻密さが増しています。



以上